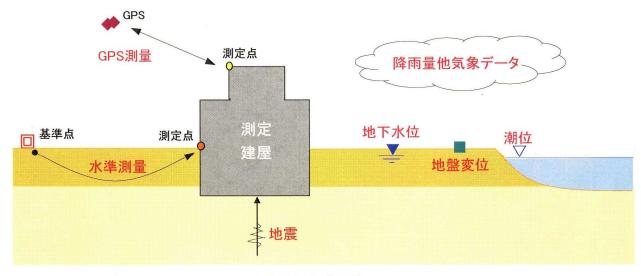
# 建屋レベルの測定結果(地震後第20回)について

# 2018年9月 東京電力ホールディングス株式会社



#### 建屋の変動に関する検討

- 原子炉建屋及びタービン建屋の新潟県中越沖地震以降の建屋レベル及び建屋 の傾斜の変化量を確認する目的で、年二回の水準測量を実施している。
- 中越沖地震以降これまでに計20回の測量を実施している。 (2008年2月・8月、2009年8月、2010年3月・8月、2011年4月・5月・11月、2012年6月・11月、2013年5月・12月、2014年6月・11月、2015年6月・11月、2016年6・11月、2017年6月・11月)
- 建屋の水準測量と合わせて、建屋レベルの変動に影響を及ぼす可能性のある地下水位、潮位、地盤変位、降雨量等のデータを取得することで、変動が生じた際の要因を検証できる体制となっている。



## 測定方法と誤差

#### ■建屋レベルの測定方法

#### 【手順】

- ①構内基準点から仮ベンチマークの標高を測定
- ②最寄の仮ベンチマークから建屋レベルを測定

#### ■誤差

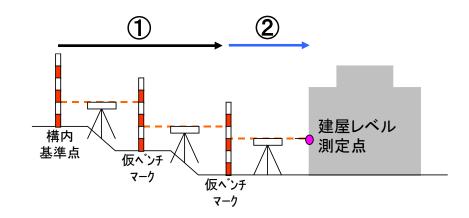
2級水準測量相当にて実施

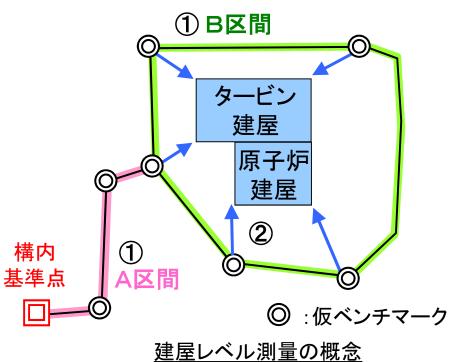
許容誤差(mm)=5√S

S:測量距離(km)

<参考>2017.11 測量時の基準点路線

区間	測量距離 (km)	許容誤差 (mm)	測量時の誤差 (mm)
構内基準点~ 1-4号機間	0.680	±4.1	±0.0
1~4号機側	2.295	±7.5	±0.0
1~4号機~ 5~7号機間	5.732	±11.9	-0.6
5~7号機側	1.442	±6.0	-0.8

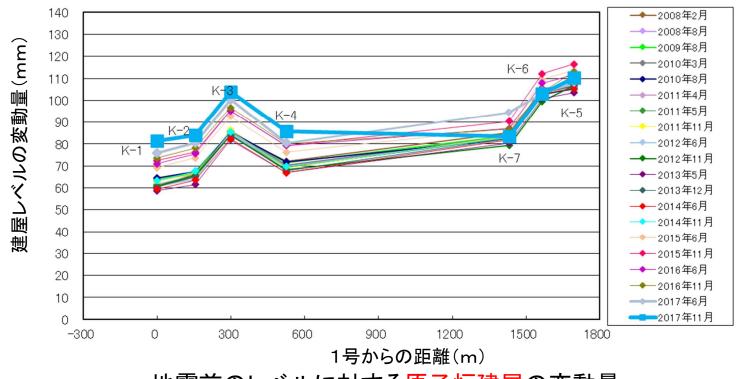






#### 建屋レベルの変動量(地震前からの変動)

- 新潟県中越沖地震直後には各号機約70~110mm程度の建屋レベルの変動が観測された。
- 中越沖地震以降の測定結果の変化は各回5mm以下である。第14回(2014年11月)と第15回(2015年6月) の測定結果にはこれよりやや大きい約7mm程度の変化がみられた。



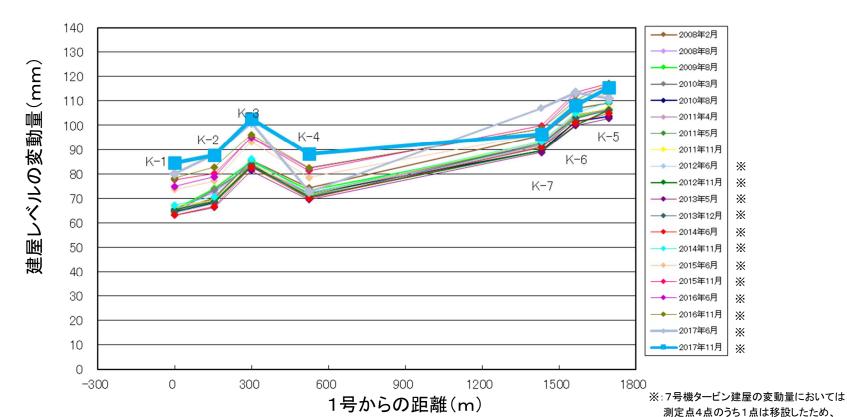
地震前のレベルに対する原子炉建屋の変動量

(2006年5月の測量結果に対する各回の測量結果の比較)



### 建屋レベルの変動量(地震前からの変動)

■ 原子炉建屋の測量結果とほぼ同じ傾向がみられる。



<u>地震前のレベルに対するタービン建屋の変動量</u>

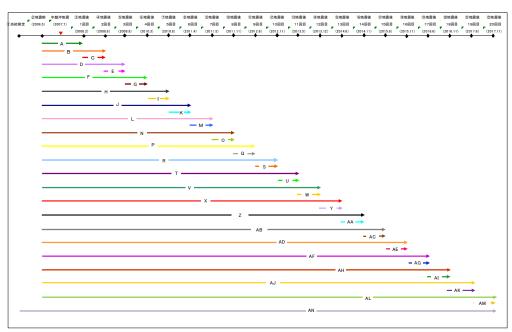
(2006年5月の測量結果に対する各回の測量結果の比較)



その測定点を除く3点での変動量の平均値

## 建屋傾斜変化について(1)

	測定年月	2008.2	200	8.80	20	09.8	20	10.3	20	10.8	20	11.4	20	11.5	20	1.11	20	12.6	20	12.11	20	13.5
		A	В	С	D	E	F	q	н	I	J	К	L	М	N	0	Р	q	R	s	T	U
号機	建屋名		②地震的から ②地震後2回目の 仮祭変化最大値	本産後1回目から 本産後2回目の 仮終変化最大値	<ul><li>・地震的から</li><li>・地震後3回目の 仮斜変化最大値</li></ul>	○地震後2回目から ○地震後3回目の 仮斜変化最大値	②地震前から ②地震後4回目の 個祭変化最大値	<ul><li>○地震後2回目から</li><li>○地震後4回目の 個祭変化最大値</li></ul>	⑦地震前から ⑦地震後5回目の 仮保変化最大値	●地震後4回目から ⑦地震後5回目の 仮保変化最大値	②地震資から ②地震後6回目の 個祭変化最大値	の地震後5回目から の地震後6回目の 仮务変化最大値	⑦地震前から ◎地震後7回目の 仮斜変化最大値	<ul><li>・地震後8回目から</li><li>・地震後7回目の 仮保安化果大信</li></ul>	・	○地震後の間目の	②地震管から ①地震管から 日間の 個祭変化最大値	<ul><li>●地震後8回目から</li><li>●地震後8回目の</li><li>仮斜変化最大値</li></ul>	②地震的から ②地震後10回目の 個斜変化最大値		②地震資から ②地震後11回目の 仮祭変化最大値	②地震後10回目から ②地震後11回目の 仮斜変化景大俊
		傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾 斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾 斜
1号線	原子炉建屋	約 1/25,000	約 1/51,000	約 1/29,000	約 1/ 15,000	約 1/16,000	約 1/12,000	約 1/68,000	約 1/21,000	約 1/20,000	約 1/22,000	約 1/28,000	約 1/20,000	約 1/22,000	約 1/16,000	約 1/32,000	約 1/ 18,000	約 1/31,000	約 1/30,000	約 1/25,000	約 1/24,000	約 1/ 31,000
. 7	タービン建屋	約 1/53,000	約 1/ 36,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/24,000	約 1/30,000	約 1/21,000	約 1/21,000	約 1/ 42,000	約 1/ 29,000	約 1/22,000	約 1/ 35,000	約 1/ 50,000	約 1/29,000	約 1/ 27,000	約 1/ 44,000	約 1/ 32,000	約 1/44,000	約 1/87,000	約 1/28,000	約 1/ 40,000
2号梅	原子炉建屋	約 1/ 14,000	約 1/ 12,000	約 1/27,000	約 1/ 13,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/83,000	約 1/13,000	約 1/83,000	約 1/15,000	約 1/41,000	約 1/ 11,000	約 1/27,000	約 1/ 14,000	約 1/55,000	約 1/12,000	約 1/83,000	約 1/12,000	約 1/83,000	約 1/ 16,000	約 1/ 41,000
- 7 100	タービン建屋	約 1/10,000	<b>%</b> 1	<b>%</b> 1	<b>%</b> 1	<b>※</b> 1	<b>※</b> 1	<b>※</b> 1	約 1/14,000	₩1	約 1/11,000	約 1/22,000	約 1/ 11,000	約 1/ 160,000	約 1/ 11,000	約 1/1,100,000	約 1/ 9,800	約 1/33,000	約 1/12,000	約 1/ 33,000	約 1/ 13,000	約 1/33,000
3号楼	原子炉建屋	約 1/ 16,000	約 1/ 18,000	約 1/22,000	約 1/ 12,000	約 1/16,000	約 1/12,000	約 1/33,000	約 1/8,400	≱j 1/20,000	約 1/ 16,000	約 1/16,000	約 1/ 15,000	#j 1/ 130,000	約 1/ 23,000	約 1/30,000	約 1/ 32,000	約 1/34,000	約 1/ 24,000	約 1/34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 16,000
- 7110	タービン建屋	約 1/14,000	約 1/11,000	約 1/ 19,000	約 1/14,000	約 1/26,000	約 1/ 12,000	約 1/19,000	約 1/9,700	約 1/ 31,000	約 1/ 15,000	約 1/20,000	約 1/ 13,000	約 1/ 19,000	約 1/ 15,000	約 1/57,000	約 1/ 12,000	約 1/27,000	約 1/17,000	約 1/31,000	約 1/ 12,000	約 1/22,000
4号梅	原子炉建屋	約 1/22,000	約 1/ 19,000	約 1/ 15,000	約 1/ 18,000	約 1/26,000	約 1/ 44,000	約 1/26,000	約 1/23,000	約 1/ 50,000	約 1/24,000	約 1/47,000	約 1/ 25,000	約 1/ 68,000	約 1/27,000	約 1/61,000	約 1/ 23,000	約 1/28,000	約 1/25,000	約 1/ 35,000	約 1/21,000	約 1/ 130,000
. 7	タービン建屋	約 1/6,700	約 1/ 7,600	約 1/ 33,000	約 1/6,100	約 1/ 31,000	約 1/ 6,300	約 1/27,000	約 1/6,000	約 1/ 35,000	約 1/6,500	約 1/48,000	約 1/ 6,400	約 1/ 90,000	約 1/ 6,900	約 1/ 48,000	約 1/6,400	約 1/79,000	約 1/ 7,200	約 1/ 33,000	約 1/6,800	約 1/ 31,000
5母機	原子炉建屋	約 1/ 10,000	約 1/ 10,000	約 1/ 32,000	約 1/9,100	約 1/25,000	約 1/10,000	約 1/29,000	約 1/10,000	約 1/83,000	約 1/11,000	約 1/51,000	約 1/11,000	#j 1/69,000	約 1/ 10,000	約 1/43,000	約 1/ 10,000	約 1/25,000	約 1/ 11,000	約 1/63,000	約 1/ 9,100	約 1/ 36,000
	タービン建屋	約 1/ 7,800	約 1/ 7,000	約 1/ 16,000	約 1/ 10,000	約 1/20,000	約 1/ 9,600	約 1/17,000	約 1/11,000	約 1/12,000	約 1/ 12,000	約 1/81,000	約 1/ 10,000	約 1/37,000	約 1/8,200	約 1/14,000	約 1/ 7,200	約 1/59,000	約 1/8,700	約 1/37,000	約 1/ 11,000	約 1/ 24,000
	原子炉建屋	約 1/ 5,500	約 1/ 5,500	約 1/ 57,000	約 1/ 5,900	約 1/ 19,000	約 1/ 7,400	約 1/22,000	約 1/7,600	約 1/ 47,000	約 1/ 5,700	約 1/20,000	約 1/6,500	約 1/ 30,000	約 1/6,700	約 1/ 110,000	約 1/ 5,400		約 1/4,000	約 1/ 15,000	約 1/ 4,400	約 1/25,000
6号梅	タービン建屋	約 1/ 15,000	約 1/ 12,000	約 1/ 19,000	約 1/ 18,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/26,000	約 1/18,000	約 1/ 48,000	約 1/ 12,000	約 1/34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 74,000	約 1/ 14,000	約 1/ 130,000	約 1/ 13,000	約 1/39,000	約 1/11,000	約 1/ 16,000	約 1/15,000	約 1/ 35,000
- 916	コントロール建屋	約 1/4,200	約 1/4,400	約 1/12,000	約 1/4,500	約 1/46,000	約 1/4,200	約 1/40,000	約 1/4,800	約 1/32,000	約 1/4,800	約 1/62,000	約 1/5,000	約 1/32,000	約 1/4,000	約 1/20,000	約 1/3,800	約 1/41,000	約 1/4,400	約 1/17,000		約 1/42,000
	庚棄物処理建歷	約 1/9,000	約 1/ 14,000	約 1/ 18,000	約 1/17,000	約 1/ 18,000	約 1/9,000	約 1/9,000	約 1/15,000	約 1/ 18,000	約 1/12,000	約 1/47,000	約 1/9,000	約 1/ 18,000	約 1/8,500	約 1/21,000	約 1/8,700	約 1/43,000	約 1/8,300	約 1/65,000	約 1/7,900	約 1/67,000
7号梅	原子炉建屋	4-3	約 1/ 4,800	約 1/63,000	約 1/4,700	約 1/ 52,000	約 1/4,700	約 1/33,000	約 1/4,700	約 1/81,000	約 1/ 5,200	約 1/35,000	約 1/ 5,200	#j 1/ 110,000	約 1/6,000	約 1/ 21,000	約 1/ 5,500	約 1/38,000	約 1/ 5,700	約 1/41,000	約 1/6,100	約 1/ 41,000
7.00	タービン建屋	約 1/ 10,000	約 1/ 9,500	約 1/42,000	約 1/8,300	約 1/ 33,000	約 1/ 9,800	約 1/24,000	約 1/6,700	<b>約</b> 1/ 17,000	約 1/ 9,800	約 1/21,000	約 1/8,500	約 1/46,000	約 1/7,700	約 1/ 20,000	約 1/11,000 ※2	約 1/25,000 ※2	約 1/7,200 ※2	約 1/20,000	約 1/ 9,000 ※2	約 1/20,000



: 各項における最大値

※1: 地震後2回目(2008.8)~地震 後4回目(2010.3)の計測時に 変圧器周辺の作業により測 定できない箇所があるため 算出不可

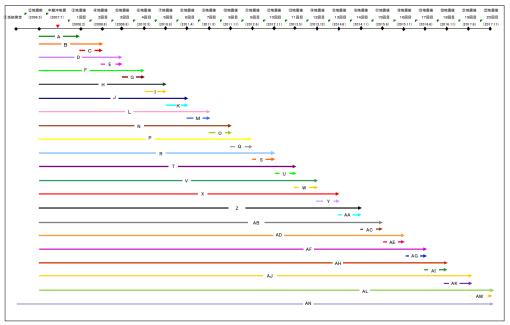
※2: K7-T/Bについては移設 (2012.05)された測定点 (K7-T/B-3)を除いた最大 傾斜変化値



## 建屋傾斜変化について(2)

#### 今回測定結果

	測定年月	定年月 2013.12		2014.6		2014.11		2015.6		2015.11		2016.6		2016.11		2017.6		2017.11		
		٧	w	x	Υ	z	AA	AB	AG	AD	AE	AF	AG	АН	AI	AJ	AK	AL	AM	AN
号(	建屋名	②地間首から ③地質後12回目の 仮斜変化最大値	<ul><li>・地震後11回目から</li><li>・地震後12回目の 保祭変化最大値</li></ul>	②地震的から ●地震後13回目の 傾斜変化最大値	<ul><li>・地震後12回目から</li><li>・地震後13回目の 個例変化最大値</li></ul>	②地震値から ●地震後14回目の 仮斜変化最大値	<ul><li>●地震後13回日から</li><li>●地震後14回日の 領外変化最大値</li></ul>	②地面資から ①地面後16回目の 個祭変化最大値	<ul><li>漁業後14回目から</li><li>漁業後15回目の 仮終変化最大値</li></ul>	②地面資から ③地面優16回目の 保务変化最大値	①地面後15回目から ●地面後16回目の 保祭変化最大値	②地震的から ●地震後17回目の 傾斜変化最大値	<ul><li>・地震後10回日から</li><li>・地震後17回日の 領勢変化最大値</li></ul>	•	●地震後18回目の	中海監督から 中海監督 1 回回目の 保終変化最大値	●地震会18回日式 6 ●地震会19回日 d 保务変化最大性	◎地震後20回目の	<ul><li>申増額後19回目から</li><li>申増額後20回目の 仮終変化最大値</li></ul>	①最初間定から ②地震後20回目の 仮斜変化最大値
		傾斜	傾 斜	傾 斜	傾 斜	傾 斜	傾斜	傾 斜	傾斜	傾 斜	傾 斜	傾斜	傾斜	傾 斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾 斜	傾 斜	傾 斜
188	原子炉建屋	約 1/27,000	約 1/27,000	約 1/29,000	約 1/220,000	約 1/ 18,000	約 1/38,000	約 1/ 18,000	約 1/880,000	約 1/ 25,000	約 1/35,000	約 1/ 38,000	約 1/44,000	約 1/ 29,000	約 1/ 20,000	約 1/20,000	約 1/23,000	約 1/35,000	約 1/20,000	約 1/ 19,000
. 91	タービン建屋	約 1/44,000	約 1/87,000	約 1/35,000	約 1/67,000	約 1/44,000	約 1/61,000	約 1/44,000	約 1/130,000	約 1/29,000	約 1/55,000	約 1/39,000	約 1/55,000	約 1/39,000	約 1/44,000	約 1/58,000	約 1/98,000	約 1/55,000	約 1/67,000	約 1/ 9,000
2등#	原子炉建屋	約 1/12,000	約 1/27,000	約 1/13,000	約 1/20,000	約 1/12,000	約 1/20,000	約 1/11,000	約 1/27,000	約 1/ 22,000	約 1/23,000	約 1/12,000	約 1/ 19,000	約 1/12,000	約 1/83,000	約 1/ 10,000	約 1/27,000	約 1/17,000	約 1/27,000	約 1/ 12,000
2-91	タービン建屋	約 1/10,000	約 1/29,000	約 1/11,000	約 1/33,000	約 1/11,000	約 1/64,000	約 1/11,000	約 1/33,000	約 1/ 10,000	約 1/51,000	約 1/9,400	約 1/ 28,000	約 1/13,000	約 1/ 25,000	約 1/ 12,000	約 1/74,000	約 1/11,000	約 1/33,000	約 1/ 13,000
3목#	原子炉建屋	約 1/28,000	約 1/16,000	約 1/14,000	約 1/16,000	約 1/16,000	約 1/17,000	約 1/14,000	約 1/ 40,000	約 1/20,000	約 1/35,000	約 1/ 22,000	約 1/ 22,000	約 1/27,000	約 1/ 34,000	約 1/ 17,000	約 1/26,000	約 1/ 12,000	約 1/23,000	約 1/ 10,000
	タービン建屋	約 1/ 15,000	約 1/19,000	約 1/11,000	約 1/19,000	約 1/19,000	約 1/26,000	約 1/16,000	約 1/53,000	約 1/17,000	約 1/100,000	約 1/ 11,000	約 1/ 24,000	約 1/21,000	約 1/ 20,000	約 1/ 15,000	約 1/27,000	約 1/15,000	約 1/37,000	約 1/ 35,000
4号	原子炉建屋	約 1/24,000	約 1/52,000	約 1/28,000	約 1/50,000	約 1/21,000	約 1/50,000	約 1/28,000	約 1/36,000	約 1/19,000	約 1/32,000	約 1/31,000	約 1/40,000	約 1/ 18,000	約 1/34,000	約 1/20,000	約 1/37,000	約 1/11,000	約 1/24,000	約 1/ 15,000
		約 1/6,900	約 1/77,000	約 1/6,200	約 1/60,000	約 1/7,000	約 1/31,000	約 1/6,500	約 1/28,000	約 1/6,800	約 1/33,000	約 1/ 7,000	約 1/20,000	約 1/6,200	約 1/ 9,300	約 1/6,000	約 1/17,000	約 1/6,000	約 1/16,000	約 1/ 5,000
5号4	原子炉建屋		約 1/75,000	約 1/9,600	約 1/83,000	約 1/10,000	約 1/48,000	約 1/9,700	約 1/69,000	約 1/ 12,000	約 1/ 43,000	約 1/14,000	約 1/ 19,000	約 1/ 10,000		約 1/ 18,000	約 1/13,000	約 1/15,000	約 1/ 15,000	約 1/8,000
	タービン建屋	約 1/9,400	約 1/14,000	約 1/9,500	約 1/34,000	約 1/ 9,800	約 1/140,000	約 1/10,000	約 1/ 102,000	約 1/ 7,500		約 1/11,000	約 1/23,000	約 1/19,000	約 1/20,000	約 1/ 14,000	約 1/45,000	約 1/10,000	約 1/21,000	約 1/ 7,000
				約 1/4,700	約 1/58,000		約 1/ 18,000	約 1/ 4,800	約 1/19,000		約 1/ 18,000 ※3		約 1/ 5,200 ※5			約 1/ 8,000		約 1/6,000	約 1/19,000	約 1/ 9,000
6号4		約 1/ 13,000	約 1/31,000	約 1/12,000	約 1/17,000	約 1/ 12,000	約 1/20,000	約 1/ 18,000	約 1/25,000	約 1/ 11,000			約 1/ 32,000	約 1/ 9,000	-	約 1/ 13,000	約 1/19,000	約 1/9,000	約 1/17,000	約 1/8,000
				約 1/4,000	約 1/45,000	約 1/4,400								約 1/8,700	約 1/ 5,200	約 1/ 5,000	約 1/13,000			約 1/ 4,000
<u> </u>		約 1/7,000	約 1/38,000	約 1/9,000	約 1/19,000	約 1/6,000	約 1/ 18,000			* 1 1	約 1/110,000			約 1/6,000	約 1/ 18,000	約 1/6,000		約 1/6,000		約 1/ 5,000
7号4		約 1/6,000	約 1/95,000	約 1/5,600	約 1/ 32,000	約 1/ 5,200	約 1/ 38,000	約 1/6,400	約 1/20,000	約 1/ 7,000	約 1/48,000	約 1/ 4,300		約 1/4,100	-	約 1/ 4,000			約 1/11,000	約 1/ 4,000
<u> </u>	タービン建屋	約 1/7,900 ※2	約 1/35,000	約 1/10,000 ※2	約 1/32,000	約 1/6,600 ※2	約 1/20,000	約 1/6,900 ※2	約 1/ 160,000	約 1/ 7,600 ※2・4	約 1/ 30,000 ※4	約 1/6,500 ※2	約 1/ 19,000 ※5	約 1/4,700 ※2	約 1/ 11,000	約 1/ 3,000 ※2	約 1/11,000	約 1/6,000 ※2	約 1/ 16,000	約 1/ 7,000 ※2



: 各項における最大値

※2: K7-T/Bについては移設(2012.05)された測定 点(K7-T/B-3)を除いた最大傾斜変化値

※3: K6-R/Bについては建屋周辺工事により測量 不能箇所であった測定点(K6-R/B-4)を除い た最大傾斜変化値

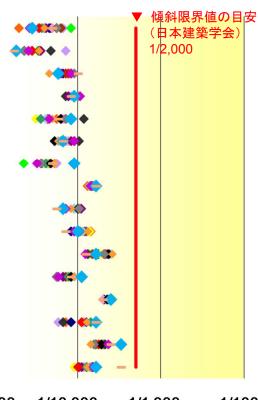
※4: K7-T/Bについては建屋周辺工事により測量 不能箇所であった測定点(K7-T/B-1)を除い た最大傾斜変化値

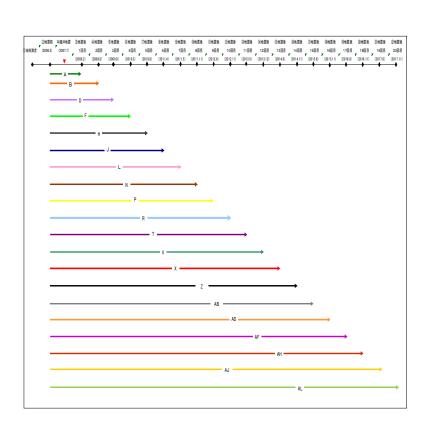
※5: K6-R/BおよびK7-T/Bについては前々回の 測定結果を用いた最大傾斜変化値

■ 建屋レベルに約7mm程度の変化がみ られた第14回と第15回の測量結果の 比較でも、建屋傾斜の変化はほとんど みられない。 T=PCO

# 建屋傾斜変化について

号機	建屋名					
   1号機	原子炉建屋					
リーク19g	タービン建屋					
2 <del>号</del> 機	原子炉建屋					
<b>2つ版</b>	タービン建屋					
   3号機	原子炉建屋					
ひち放	タービン建屋					
   4 <del>号</del> 機	原子炉建屋					
4 7 193	タービン建屋					
   5 <del>号</del> 機	原子炉建屋					
J 7 10%	タービン建屋					
	原子炉建屋					
6号機	タービン建屋					
U /3 1092	コントロール建屋					
	廃棄物処理建屋					
   7 <del>号</del> 機	原子炉建屋					
אנויניי י	タービン建屋					





1/100,000 1/10,000 1/1,000 1/100

◆2017年11月結果



#### まとめ

新潟県中越沖地震以降、2017年11月までに計20回の建屋水準測量を実施している。

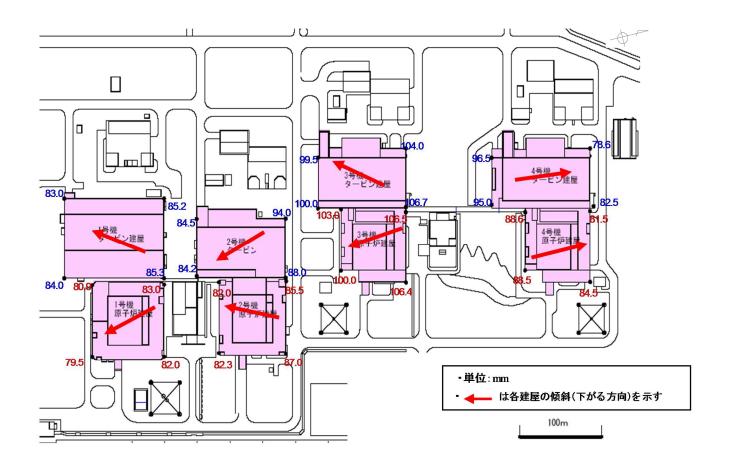
#### ■建屋レベルの変動について

- ●新潟県中越沖地震直後には各号機約70~110mm程度の建屋レベルの 変動が観測された。
- ●中越沖地震以降は測定結果の変化は各回5mm以下である。第14回 (2014年11月)と第15回(2015年6月)の測定結果には約7mm程度の変化 がみられた。これには構内基準点の変動の影響が含まれている可能性 がある。

#### ■建屋傾斜変化について

- ●新潟県中越沖地震以降の各建屋の傾斜変化量は最大でも1/3,000程度に収まっており、安全上大きな問題となるレベルではない。
- ●なお、建屋レベルの測量結果に変化が確認された第14回(2014年11月)と第15回(2015年6月)の間の最大傾斜変化量は、最大でも1/18,000とほとんど変化がみられなかった。

#### 建屋レベル変動図(2. 地震前→22. 地震後20回目、1-4号機側)

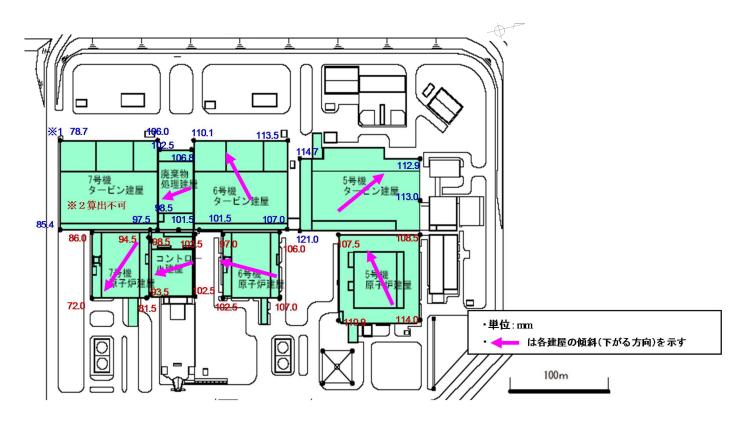


(1-4号機配置図)

・建屋レベル変動図は、<u>地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第20回(2017年11月に実施)</u>の差分



## 建屋レベル変動図(2. 地震前→22. 地震後20回目、5-7号機側)



(5-7号機配置図)

※1: 測定点移設箇所(K7T/B-3) 計1箇所

※2: K7T/Bについては、測定点移設箇所がある為、下がる方向の算出なし

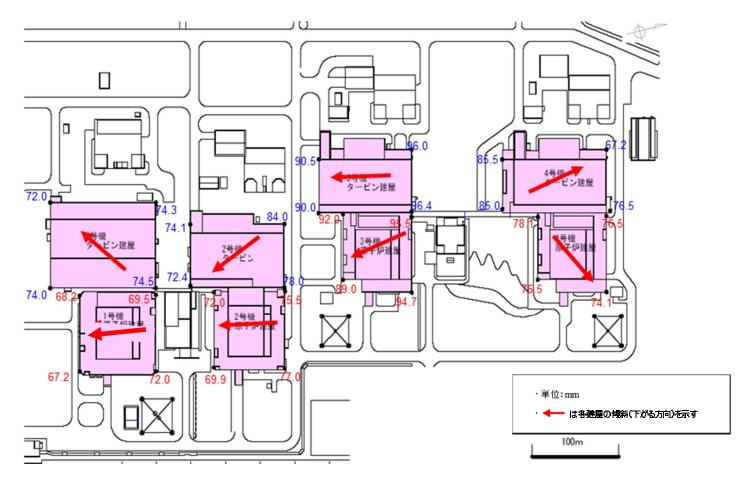
・建屋レベル変動図は、<u>地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第20回(2017年11月に実施)</u>の差分



# (参考)第15回から第18回までの建屋レベル変動図



## 建屋レベル変動図(②地震前→①地震後15回目、1-4号機側)

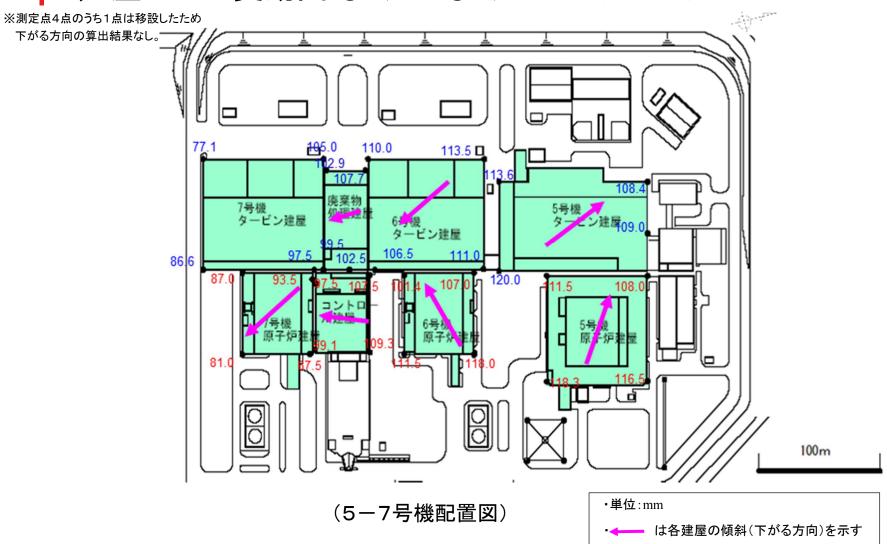


(1-4号機配置図)

・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第15回(2015年6月に実施)の差分



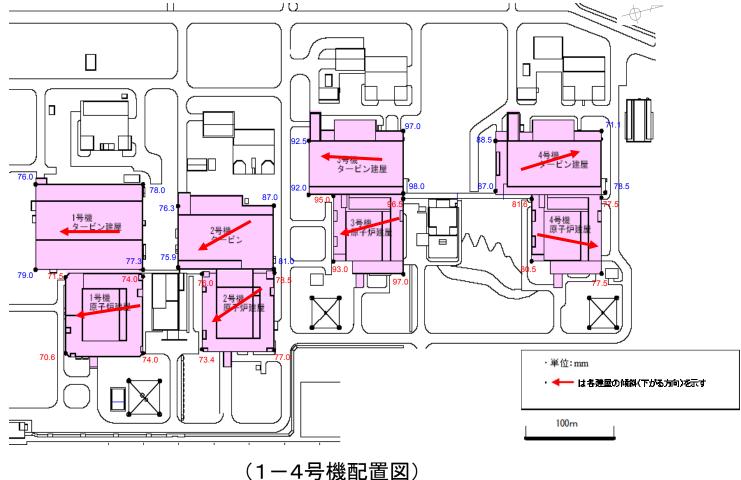
## 建屋レベル変動図(②地震前→①地震後15回目、5-7号機側)



・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第15回(2015年6月に実施)の差分



## 建屋レベル変動図(②地震前→®地震後16回目、1-4号機側)



・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第16回(2015年11月に実施)の差分



#### 建屋レベル変動図(②地震前→®地震後16回目、5-7号機側)



※:K6R/B、K7T/B、K6Rw/Bについては、測定点移設箇所または 測量不能箇所がある為、下がる方向の算出なし。

(5-7号機配置図)

•単位:mm

※1:測定点移設箇所(K7T/B-3)計1箇所

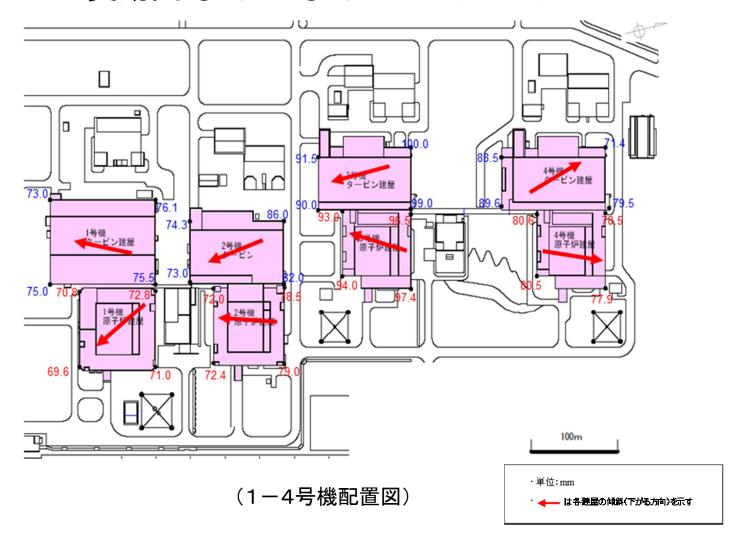
※2:測量不能箇所(K6R/B-4、K7T/B-1、K6Rw/B-1·2) 計4箇所

·**←** は各建屋の傾斜(下がる方向)を示す

・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第16回(2015年11月に実施)の差分



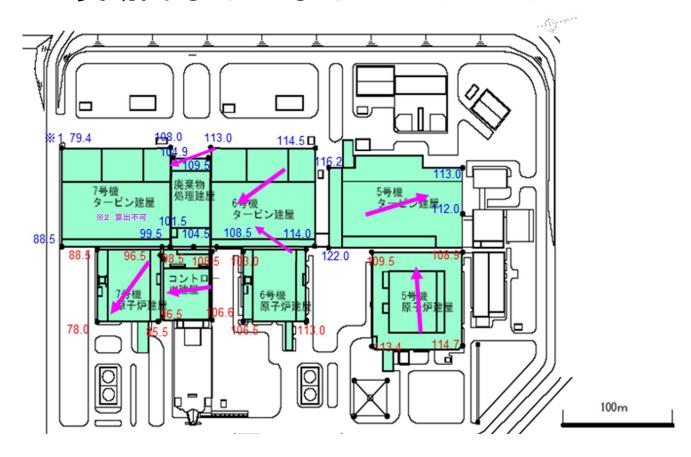
# 建屋レベル変動図(②地震前→⑨地震後17回目、1-4号機側)



・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第17回(2016年6月に実施)の差分



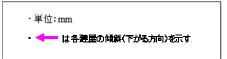
## 建屋レベル変動図(②地震前→⑨地震後17回目、5-7号機側)



(5-7号機配置図)

※1: 測定点移設箇所(K7T/B-3) 計1箇所

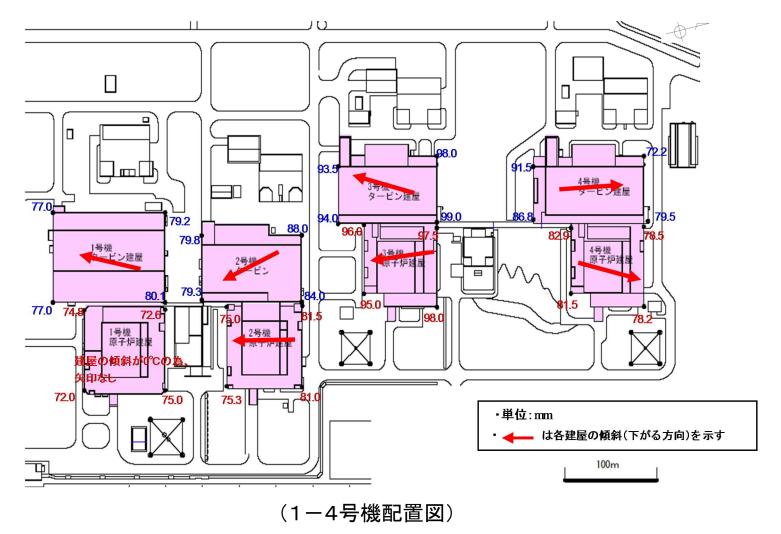
※2: K7T/Bについては、測定点移設箇所がある為、下がる方向の算出なし



・建屋レベル変動図は、<u>地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第17回(2016年6月に実施)</u>の差分



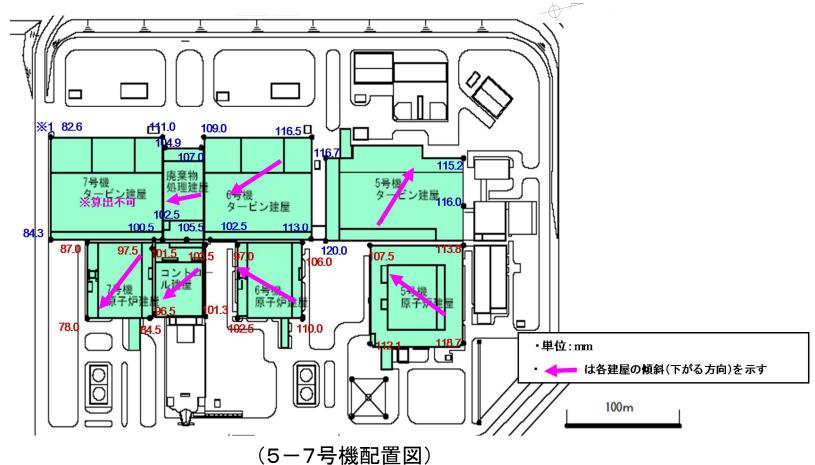
## 建屋レベル変動図(②地震前→⑩地震後18回目、1-4号機側)



・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第18回(2016年11月に実施)の差分



#### 建屋レベル変動図(②地震前→⑩地震後18回目、5-7号機側)



※1 : 測定点移設箇所(K7T/B-3) 計1箇所

※2: K7T/Bについては、測定点移設箇所がある為、下がる方向の算出なし

・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第18回(2016年11月に実施)の差分

